

高等学校 保健体育科（保健） 学習指導案

指導者 山尾 学

日 時	令和7年11月27日（木） 第1限 9:45～10:35
場 所	Ⅱ年5組 HR 教室
学年・組	高等学校Ⅱ年5組 38人
単 元	健康を支える環境づくり（1.大気汚染と健康 2.水質汚濁・土壌汚染と健康 3.健康被害を防ぐための環境対策 4.環境衛生に関わる活動）
目 標	1. 人間の生活や産業活動は、自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼすことについて理解できる。（知識及び技能） 2. 健康を支える環境づくりに関わる情報から課題を発見し、解決方法を考え、それらを説明することができる。（思考力、判断力、表現力等） 3. 健康を支える環境づくりに関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組むことができる。（学びに向かう力、人間性等）

指導計画（全6時間）

- 第一次 発表までの流れ・グループ・テーマ決め等 1時間
- 第二次 健康を支える環境づくり（調べ学習、発表資料作り、発表練習） 3時間
- 第三次 健康を支える環境づくり（発表、評価） 2時間（本時 5/6）

授業について

本教材は、高等学校学習指導要領保健体育の保健（4）健康を支える環境づくり（ア）環境と健康について「人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し、健康に影響を及ぼすことがあること。それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があること。」を踏まえて設定したものである。

平成28年12月の中央教育審議会答申において、教育課程全体を通して育成を目指す資質や能力の中に、「理解していること・できることをどう使うか（未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成）」や「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養）」について提言されており、本授業においても、「理解していることをどう使うか」や「学びを人生や社会にどう生かそうとするか」について考えていきたい。

保健授業においては、学習意欲の向上を目指した教材・教具の工夫として、ICT活用を中心に授業を行っている。ICTは、Microsoft PowerPointを活用することにより、視覚的情報を多く用いて指導している。そして、本単元においては、高等学校学習指導要領解説保健体育・体育編（平成30年）に示されている「言語活動」と「情報機器の活用」として、保健体育科の授業においてもグループでの言語活動や情報機器の活用を設定する。また、生徒は一人一台の個人用PCを持っており、ネットワーク環境を利用して、GoogleのClassroomやスライドの機能を活用することで、時間や場所に捉われないグループでの言語活動を可能にする。社会生活に即したテーマでの言語活動を行うことで、実生活につながる学習をさせていきたい。

題 目 主体的・協働的な社会とつながる保健の学び ～言語活動と情報機器の活用～

本時の目標

1. 健康を支える環境づくりについてグループで発表資料を用いて説明できる。(思考力、判断力、表現力等)
2. 他のグループの発表について根拠を踏まえて評価することができる。(思考力、判断力、表現力等)
3. 健康を支える環境づくりに関心をもち、仲間と協力して学習活動に意欲的に取り組むことができる。(学びに向かう力、人間性等)

本時の評価規準（観点／方法）

1. 健康を支える環境づくりについて作成した資料を活用しながら発表している。
(思考・判断・表現／発表)
2. 他のグループの評価について根拠を踏まえて書いている。
(思考・判断・表現／ワークシート)
3. 発表や評価について意欲的に取り組んでいる。
(主体的に学習に取り組む態度／観察)

本時の学習指導過程

学習内容	指導上の留意点	評価の観点と方法
(導入) 1. 前時までの活動を振り返り、本時の活動について理解する。	本時の発表までの流れを確認させる。	
(展開) 2. グループ毎に順番に発表をする。	発表は聞き手にわかりやすい発表となるように、声の大きさや話すスピード、体や顔の向きなど伝わりやすい発表の工夫について確認させる。	【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 (発表・観察)
3. 自分のグループ以外の発表を評価する。	評価は良い、悪いだけではなく、根拠となる理由を具体的に説明できるように確認させる。	【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 (ワークシート・観察)
(まとめ) 4. 本時のまとめと振り返り	・各グループから他のグループの良かった点を代表者に発表させる。	【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 (発表・観察)
備考		

保健発表評価シート

Ⅱ年 組 番 名前()

＜評価＞ A(とてもよかった)・B(よかった)・C(あまりできていない)・D(できていない)

()グループ		評価(A～D)	評価の理由(良かった点・改善すべき点)
①	資料		
②	内容		
③	発表		

()グループ		評価(A～D)	評価の理由(良かった点・改善すべき点)
①	資料		
②	内容		
③	発表		

()グループ		評価(A～D)	評価の理由(良かった点・改善すべき点)
①	資料		
②	内容		
③	発表		

()グループ		評価(A～D)	評価の理由(良かった点・改善すべき点)
①	資料		
②	内容		
③	発表		

()グループ		評価(A～D)	評価の理由(良かった点・改善すべき点)
①	資料		
②	内容		
③	発表		

実践上の留意点

1. 授業説明

本授業は、平成 28 年 12 月の中央教育審議会答申において、教育課程全体を通して育成を目指す資質や能力の中に、「理解していること・できることをどう使うか（未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成）」や「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養）」について提言されており、本授業においても、「理解していることをどう使うか」や「学びを人生や社会にどう生かそうとするか」について考え、設定したものである。また、高等学校学習指導要領に、保健は心身の健康の保持増進の実践力を育成するため、単なる暗記や知識理解にとどまらず、自他の健康やそれを支える環境づくりに関心をもてるようにし、健康に関する課題を解決する学習活動を取り入れるなど、保健の資質や能力が育成されるよう指導方法の工夫を行うことが必要であると示されている。このことから、本単元の環境問題について、中学校までの既習の知識や社会科などでの学習を活かし、課題設定と課題解決について調べ学習を行い、グループでの発表資料の作成や発表を行った。通常の授業形態である教師から生徒への一方向の授業では得られない、生徒同士の言語活動や情報機器を活用した教科書の内容以上の学びを得ることができたと感じている。また、発表の際には、生徒同士の相互評価を行わせ、評価シートへの記述も「よかった点」や「改善すべき点」について（何が）（どのように）を具体的に記述させた。

2. 研究協議

・グループ決めにはどのような意図があるのか。

⇒グループ決めは教員側が行い、仲が良い人だけや同性だけのグループにならないようにした。この授業を通して、様々な生徒との関わりを大切にしたいためである。

・1回の発表で理解しきれていないと思うが、そこへの対応はどう考えるか。

⇒1回の発表を聴いて理解できない部分に関しては、発表資料を Google classroom の中で教師側から Google スライドを課題として生徒に配信しているものを使用して作成しているため、発表後も Google classroom 内の生徒であれば誰でも他のグループのスライドを確認することができる。また、今回は各グループの発表に対する学習プリントを作成していなかったため、学習プリントがあれば発表を聴く上での理解も深まり、復習する場合にも役立つためある方がよいと考える。